

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

ワイン粕等粉末の飼料によるブランド豚『新フジザクラポーク』の育成・販売及びワイン粕等粉末によるエコフィードとワイン粕等乾燥システムの開発・販売

ワイン粕等乾燥システム及びエコフィードの開発・販売とワイン粕等粉末飼料によるブランド豚『新フジザクラポーク』の育成・販売等を行う。(※エコフィードとは、「食品循環資源利用飼料」をいう。)

➤ **連携体**

農林漁業者 **フジザクラポーク生産組合（農業）**

ワイン粕等粉末の安価なエコフィードを活用して、山梨県発、安全・安心、美味しい『新フジザクラポーク』の育成及び販路開拓を行う。

中小企業者 **(株)共立（生産用機械器具製造業）**

ワイン粕等乾燥システムを確立するとともに、エコフィードを開発し、それぞれ商品化・販売を目指す。

連携参加者 **山梨県畜産試験場、山梨県ワイン酒造協同組合（飲料・たばこ・飼料製造業）、(株)やまと（飲食料品小売業）、鈴健興業(株)（廃棄物処理業）**

豚肉の評価技術、分析技術、ワイン粕の提供、果物粕等の提供、乾燥システム設置場所の提供等により連携事業を支援する。

サポート機関等 **(社)首都圏産業活性化協会(TAMA協会)、山梨県(商工労働部、農政部)、西武信用金庫、神奈川県中小企業団体中央会、地域活性化支援事務局**

➤ **連携の経緯**

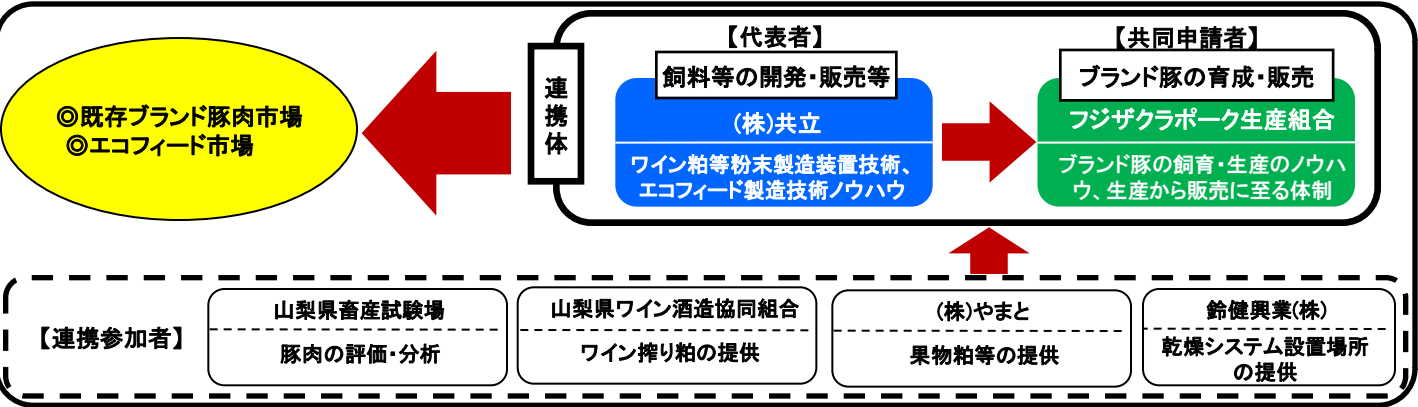
(株)共立は糖分の多いワインの搾り粕等からエコフィードを作るため、こげを作らない乾燥システムの開発を計画。そこで、ワイン粕等粉末を豚に給与してのフィールドテストデータの入手を必要としていた。フジザクラポーク生産組合は、より安全でおいしい豚肉の生産のため、ワイン粕等粉末の安価な飼料を有効利用し、新ブランド豚の育成・販売を計画していた。その両者が、TAMA協会の連携シンポジウム等を通して意気投合し連携するに至った。



写真 エコフィードとブランド肉 (開発イメージ)

➤ **連携に当たっての課題や工夫等**

ワイン粕等はビタミンE等の有効成分が含まれているにもかかわらず、乾燥が難しく長期保存ができないため、継続的に飼料として利用されていない。そこで(株)共立はワイン粕等乾燥システムの確立と飼料販売を目指すこととした。フジザクラポーク生産組合はワイン粕等粉末の安価なエコフィードを活用して、山梨県発、安全・安心、美味しい『新フジザクラポーク』の育成を行うとともに、販路開拓にも取り組む。



➤ **連携による効果**

農林漁業者 **5年で4億5,000万円の売上高増加、地域ブランド『新フジザクラポーク』の確立**

ビタミンE等を豊富に含むワイン粕等粉末を飼料に添加・給与することで、低コストで地域性豊かな高品質豚肉(『新フジザクラポーク』)を生産することによる売上高増、付加価値向上が期待される。

中小企業者 **5年で8億円の売上高増加、ワイン粕等乾燥システムの確立**

フィールドテストデータの分析により開発するワイン粕等乾燥システムやエコフィードの販売は、大きな営業力になるとともに、経営改善に大きく寄与することが期待される。

➤ **代表企業等の連絡先**

企業等名：株式会社共立 所在地：神奈川県相模原市西橋本5-4-21
 TEL：042-770-9407 FAX：042-770-9408
 E-mail：s.ueno@kyo-ri-tsu.com ホームページ：http://www.kyo-ri-tsu.com/